

福知山市 中心市街地活性化ニューズレター

まちなか
元気アップ!

■ 城下町の再生へ。広小路フォーラムを開催しました！

広小路は、江戸期の城下町時代に、まちなかの防火帯として拡幅造成された通りであり、城下町福知山のシンボルの一つになっています。

平成23年度から本格的に動き出した福知山市の中心市街地活性化を推進していく上で、その1stプロジェクトとして取り組んできた「城周辺賑わい創出施設（ゆらのガーデン）整備」に続く第2弾の活性化プロジェクトとして、「ゆらのガーデン」の集客力をまちなかにつなげ、回遊性を生み出す役割を担うのが広小路です。

平成24年度には、思い切ってアーケードの撤去と城下町らしい建物への外観の修景改修、そして空店舗を活用した新しい店づくりを実現させる計画です。

昨年11月17日には、地元の合意形成を目指し「広小路フォーラム」を開催したところ、多くの皆様が関心を寄せられ、約100人のご参加をいただき、会場は熱気に包まれました。



広小路フォーラムの様子



広小路リニューアルイメージ

■ 街づくり協定が締結されました！

城下町ならではの町並みや町家を活かしたまちづくりの実現に向けて、関係自治会長や商店街の皆様等で構成する「町並み・町家活用プロジェクト会議」を設け、国の『街なみ環境整備事業費補助金』を活用した景観づくりを検討してきました。そして、この補助金の前提となる地元住民による『街づくり協定（案）』をとりまとめ、地域の皆様に文書でお示しするとともに説明会を開催し、ご意見をお聞かせいただきました。

お寄せいただいたご意見につきましては、同プロジェクト会議で慎重に検討し、一部修正を加え、改めて皆様に最終案をお知らせした上で、去る11月24日に開催した同プロジェクト会議において、「街づくり協定」の締結を決定しました。

平成24年度からこの協定に沿って事業が実施できるよう、現在、市のほうで関係機関との調整を進めていただいています。

自分の土地・建物を生かしたい、自分も店づくり・起業にチャレンジしたい！そんな方はぜひご相談下さい。

プロジェクト会議レポート

—— 中心市街地活性化は4つのプロジェクト会議を軸に推進しています。

城
周
辺
賑
い
創
出
P
J

市民プール跡地は、「ゆらのガーデン」とネーミングが決まり、平成24年4月オープンを目指して、工事が急ピッチで進んでいます。プロジェクト会議としては、出来上がった素晴らしいガーデンを年月と共に美しく育てていくため、ガーデニングサークルづくりを予定しています。今までに、ガーデニング講座を4回開催し、今回は、3月18日の予定です。ガーデニング講座やサークル活動へのご参加を希望される方は、ぜひお申し出ください。



町
並
み
・
町
家
活
用
P
J

広小路リニューアル部会

昨年の5月に正式に部会を立ち上げ、これまで8回の部会を開いて協議を進めてきました。11月には広小路フォーラムを開催し、多くの方々にご参加いただきました。今後は、意欲のある出店者に活かしていただくため、空店舗の持主と相談をしています。まちづくり会社が間に入って店づくりを応援します。「出店者募集中です！」詳しくは、福知山まちづくり株式会社まで。

街なみ環境整備部会

街なみ環境整備の勉強から始め、これまで6回の部会を開いて協定案づくりと地域の皆さんへのPRを進めてきました。そして11月24日には「街づくり協定」の締結を決定することができました。これからは協定のことをさらに多くの人に知っていただく広報や平成24年度からの協定の運営に向けた取り組みを推進します。

ま
ち
な
か
お
も
て
な
し
P
J

活性化に向けて、まちなか全体を対象とする賑わいづくりのためのソフト事業を立ち上げるのがこのプロジェクトの目的です。定期的なイベントを来年4月に計画する「イベント創出チーム」、まちなかの資源を掘り起こして、テーマ型のまち歩きツアーを企画する「地域資源チーム」、プロジェクト会議参加者間の情報提供や多種多様に存在する観光情報マップをネット上で一同に集約することなどに取り組む「情報活用チーム」の3チームを編成して活動を行っています。



ま
ち
な
か
居
住
促
進
P
J



活性化のためには人が住み、「子どもの声が聞こえるまち」にすることがどうしても必要だと考え、福知山らしい、まちなか居住の方法を研究しています。これまでに、勉強会を何度かした上で、プロジェクト会議を2回開きました。そのなかでまちなか居住のためには①既存町家の活用、②空地活用によるまちなか型戸建住宅、③集合住宅づくり、の3つの方法が可能として、その具体化に取り組んでいます。次のプロジェクト会議は2月の予定です